

# I 青果情報

## 1 6月下旬～7月中旬までの経過

気 象	<p>6月下旬は北日本を除き日照時間が長く、異常な高温になった。また、東北以北、奄美・沖縄地方は雨がちであった。7月に入り、北東北～北海道は曇りがちな天気となった。</p> <p>気温は、南関東以西で平年より1.0～2.0℃、北関東以北で2.0～3.0℃高かった。</p> <p>降水量は、日本海岸、太平洋岸の一部の地域でまとまった降雨があり、平年より多かった。その他の地域は平年より少なかった。</p> <p>日照時間は、関東、甲信越、東海は長く、北東北、オホーツク海岸を除く北海道で平年より短かった。</p>
-----	--

### 野菜類

入荷量	<p>6月下旬からの猛暑や7月中旬の降雨により、多くの品目で品質低下や収穫作業の遅れにより、入荷量が少なくなった。「キャベツ類」は群馬産が生育順調で6月下旬の入荷量がかなり増加した。「レタス類」は入荷量がやや多く、また、品質の低下が目立った。</p> <p>野菜全体では、6月下旬から7月中旬の入荷量は110,079t（前年比93.6%）と前年をかなり下回った。</p>
相 場	<p>入荷量が少なくなった「にんじん」、「だいこん」は前月からの品薄感から、前年を大幅に上回る高値となった。「ばれいしょ類」は引き続き、潤沢感があり、前年を大幅に下回る安値となった。</p> <p>野菜全体では、6月下旬から7月中旬の価格は251円/kg（前年比108.0%）と前年をかなり上回った。</p>

### 果実類

入荷量	<p>「すいか類」「もも類」「メロン類」「りんご類」を中心に入荷した。</p> <p>「すいか類」は6月の天候に恵まれ、入荷量は前年をかなり上回った。「日本なし類」は去年全国的に生育が早く出荷が早まり、今年は平年並みの生育のため、前年を大幅に下回った。</p> <p>果実全体では、6月下旬から7月中旬までの入荷量は28,071t（前年比94.8%）と前年をやや下回った。</p>
相 場	<p>気温の上昇に伴い「すいか類」は引き合いが強くなり、入荷量は多かったが前年をやや上回った。入荷量が少なかった「日本なし類」「ぶどう類」は前年を大幅に上回った。</p> <p>果実全体では、6月下旬から7月中旬の価格は550円/kg（前年比105.0%）と前年をやや上回った。</p>